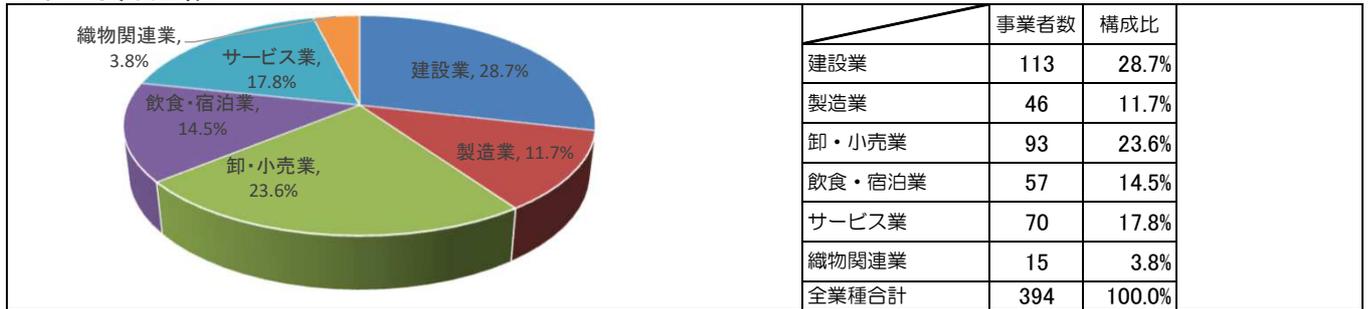
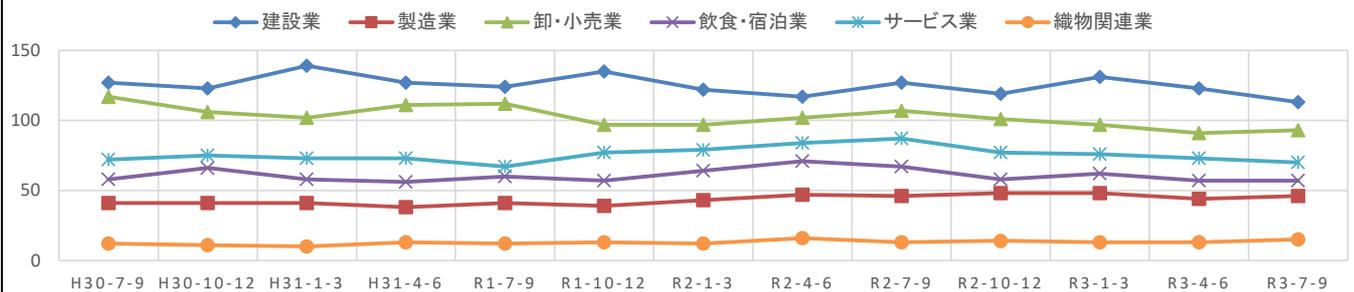


◇ 調査対象事業所構成割合

<十日町市内全体>



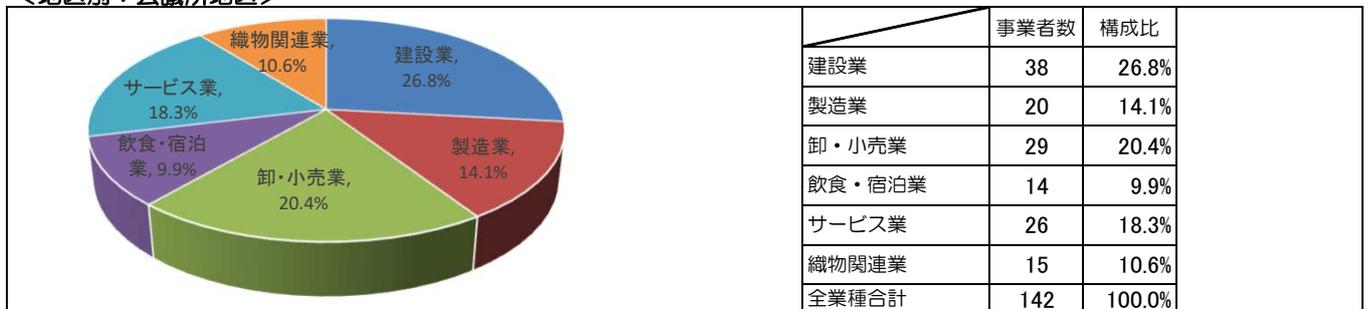
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



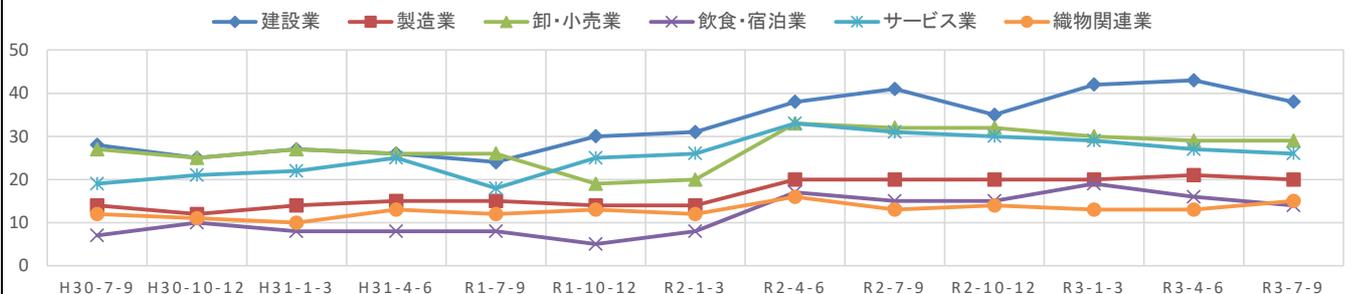
<コメント>

今回の調査は、十日町市内394事業所から回答を得られ、前回調査よりも7事業者減少している。建設業とサービス業において減少があったものの、回答割合については大きな差はないものとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

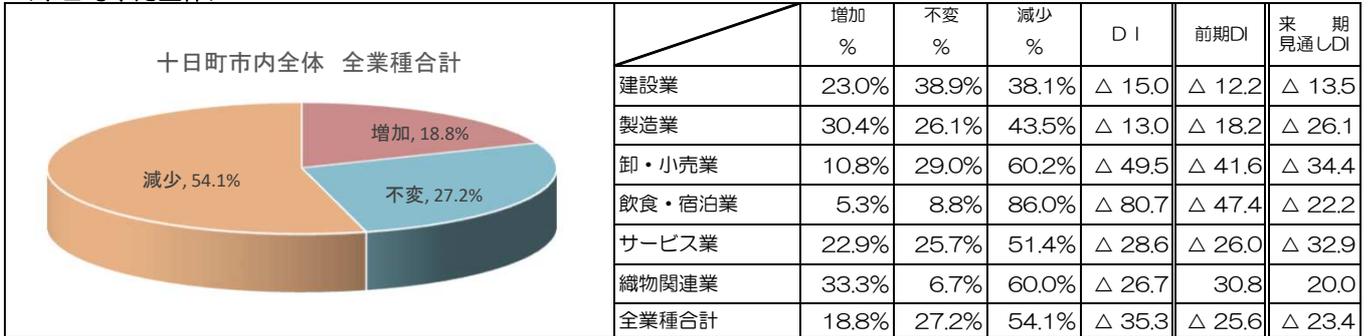
会議所地区の今回の調査回答状況は、配布193事業所のうち142事業所からの回答があり、回収率は73.5%であった。(前回：回答事業所149事業所、回収率76.8%)

DI値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

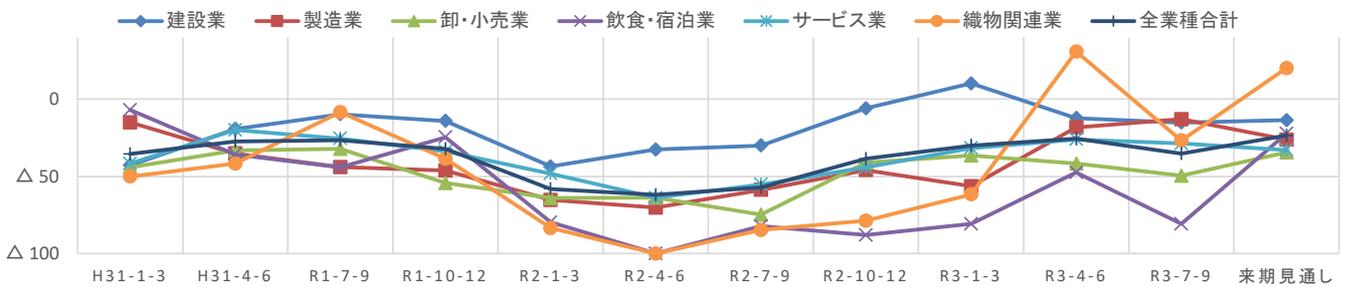
1. 売上について

- ・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>

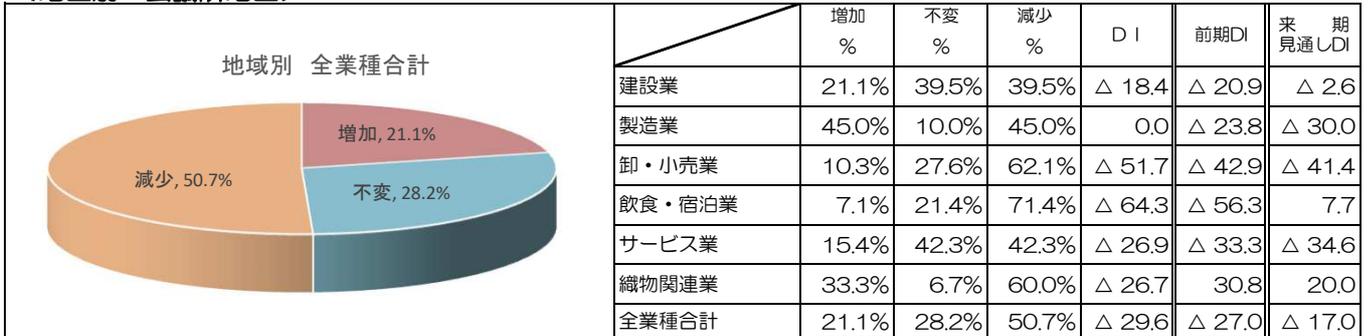


業種別売上の推移（市内全体）

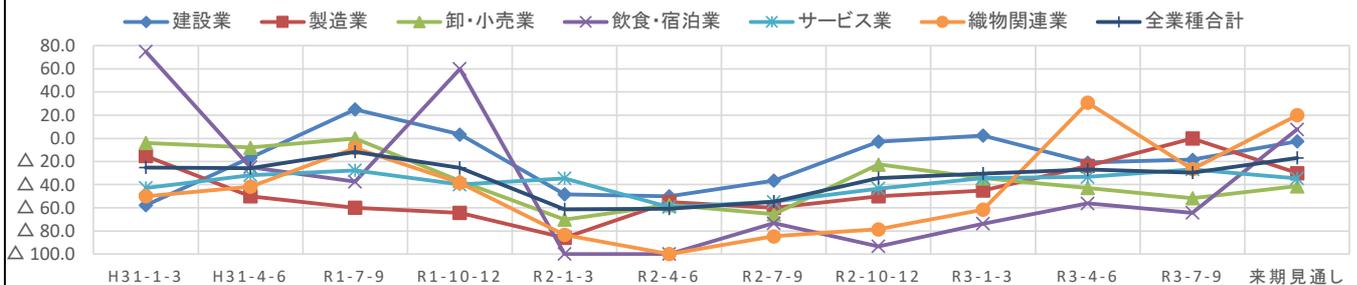


<コメント> 十日町市内全体の今期の売上状況は、全業種DI値で△35.3ポイントで、前回調査時よりも9.7ポイント低下となっている。全業種が低下する中、特に飲食・宿泊業の低下が大きくなっている。来期見通しでは製造業とサービス業、建設業は低下予測であるが、その他の業種では上昇予測となり、全業種DI値においても上昇する見通しとなっている。

<地区別：会議所地区>



業種別売上の推移（地区別）

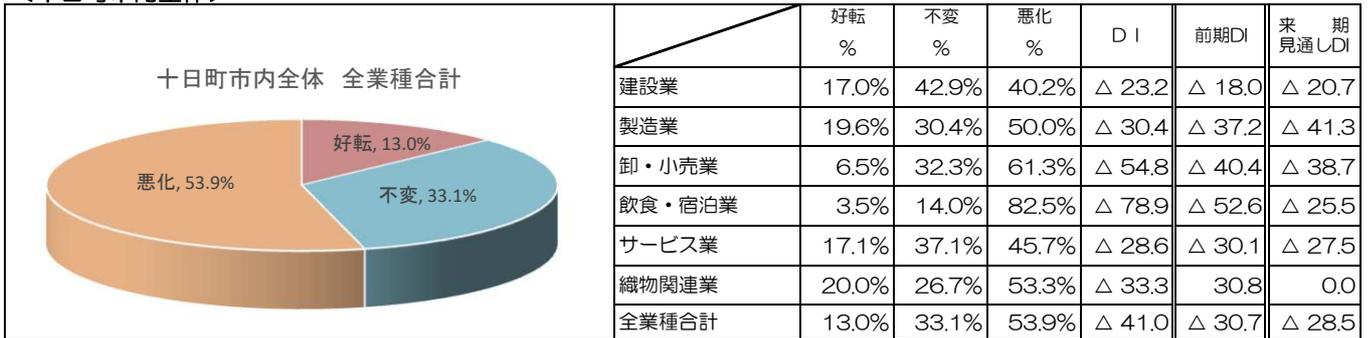


<コメント> 会議所地区の今期の売上状況は、全業種DI値が△29.6ポイントで、前回調査時よりも2.6ポイント減少となっている。業種別に見ると、製造業（前期比23.8ポイント増）のほか、サービス業、建設業で好転しているが、織物関連業（前期比57.5ポイント減）や卸・小売業、飲食・宿泊業で悪化の結果となっている。来期見通しにおいては、製造業とサービス業で悪化予測となっているが、その他の業種は好転予測となっている。

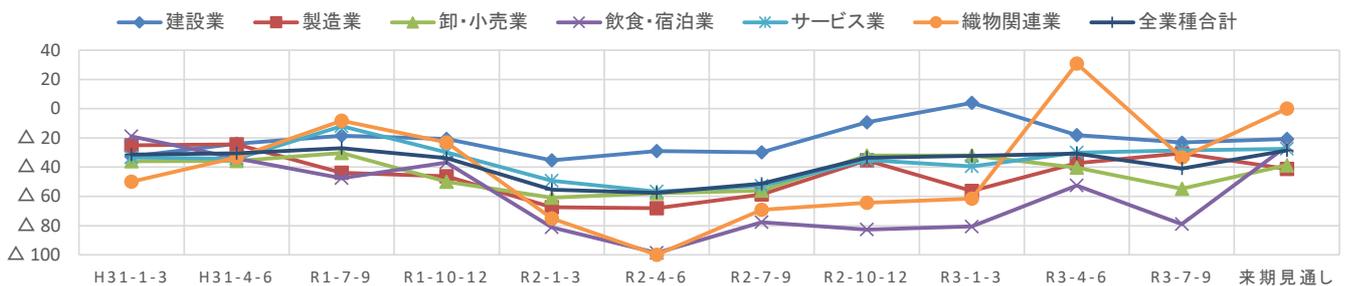
## 2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

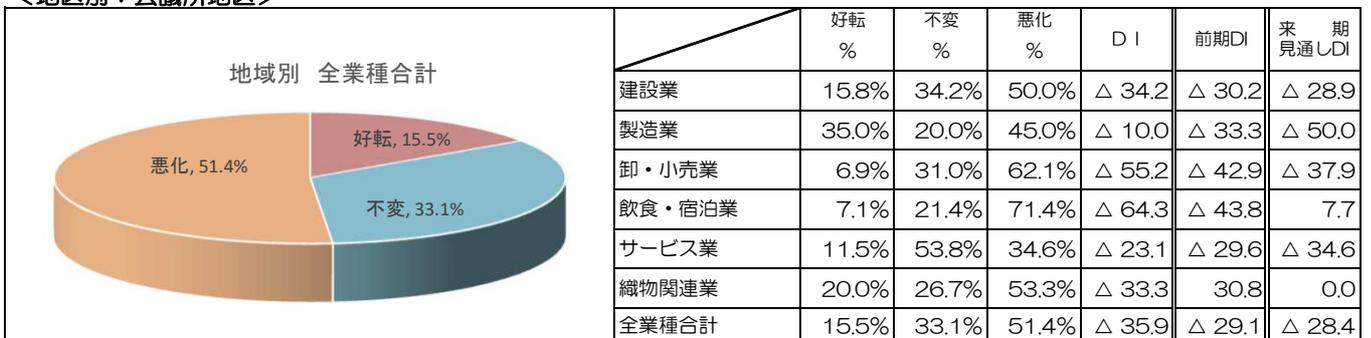


### 業種別採算の推移(市内全体)

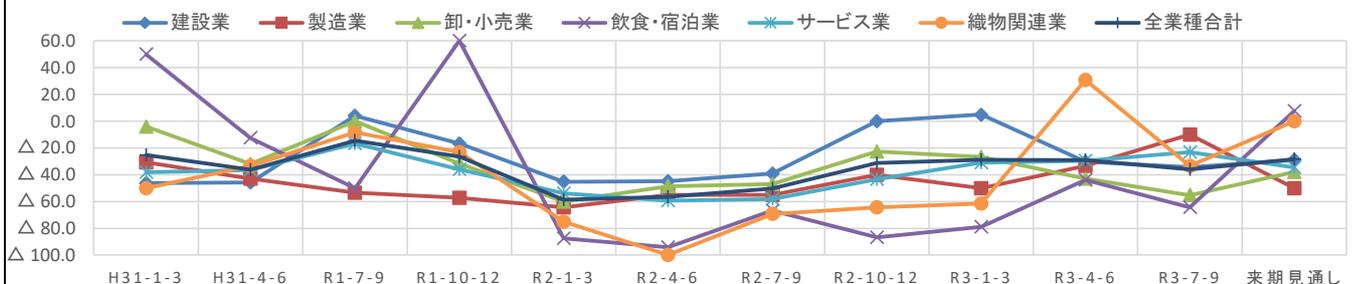


<コメント> 十日町市全体の今期の採算状況は、全業種DI値で△41.0ポイントで、前回調査より10.3ポイント悪化している。サービス業においては好転しているものの、その他の業種では悪化している状況である。来期見通しでは、製造業と建設業にて悪化予測となるが、その他の業種では好転予測であり、全業種DI値においても好転見通しとなる。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別採算の推移(地区別)

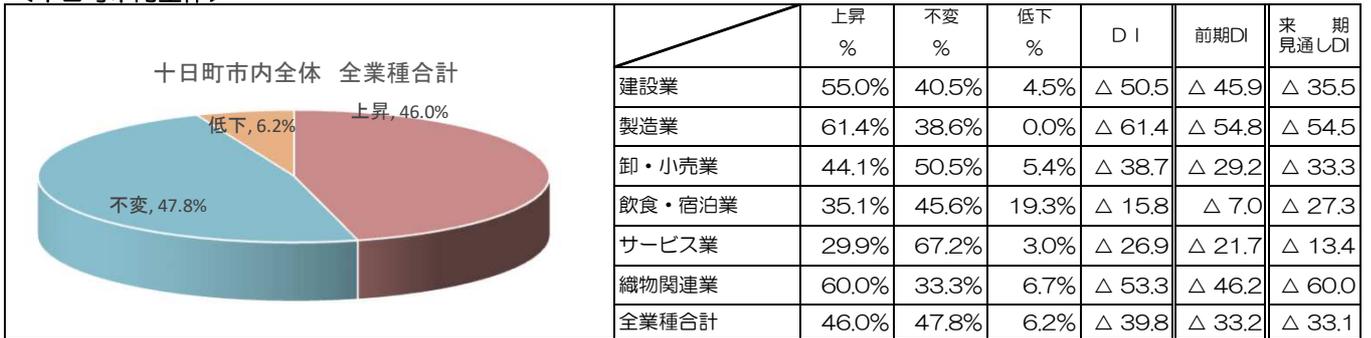


<コメント> 会議所地区の今期の採算状況は、全業種DI値が△35.9ポイントで、前回調査時よりも6.8ポイント悪化している。業種別に見ると、製造業（前期比23.3ポイント増）とサービス業（前期比6.5ポイント増）が好転したが、その他の業種は悪化している。来期見通しでは製造業とサービス業で悪化予測、その他の業種は好転予測となっており、売上予測と同様の結果となっている。

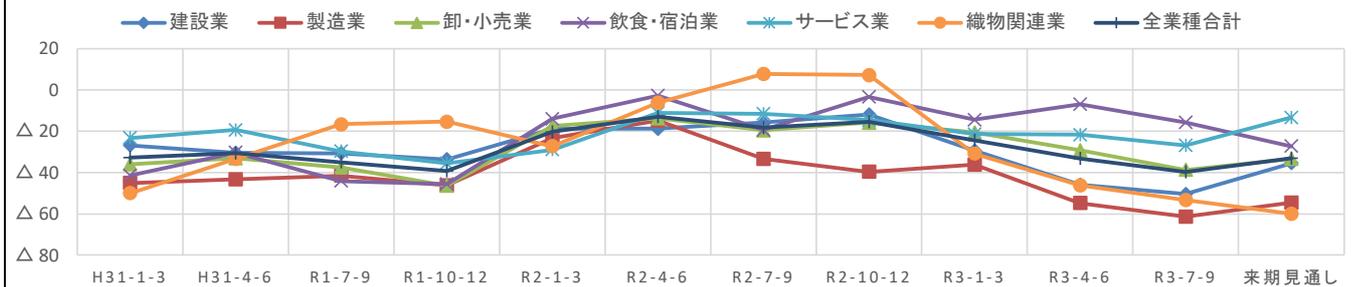
### 3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

#### <十日町市内全体>

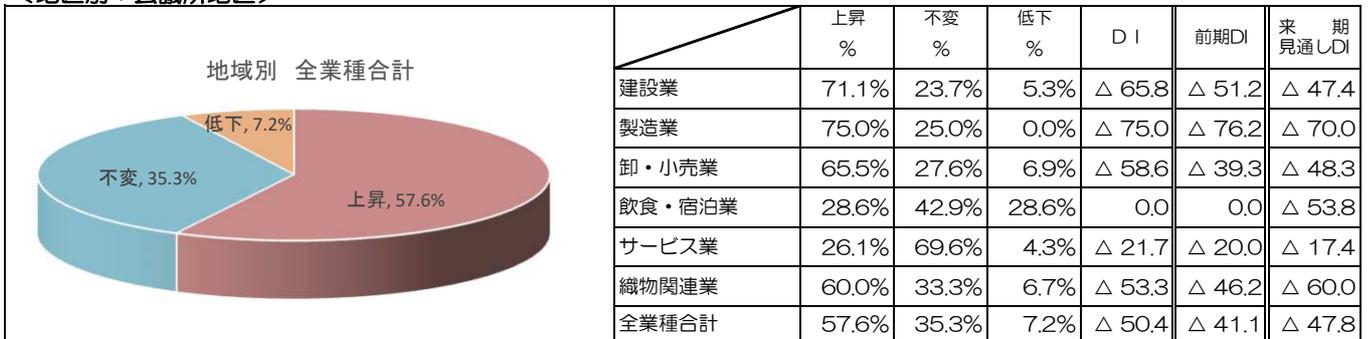


#### 業種別仕入単価の推移(市内全体)

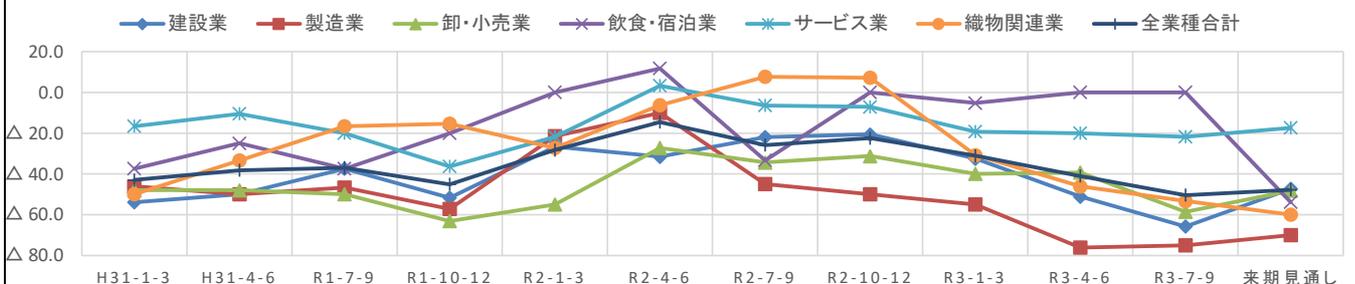


<コメント> 十日町市内全体の今期の仕入単価状況は、全業種DI値で△39.8ポイントで、前回調査時よりも6.6ポイント低下している。全業種においてDI値は悪化しており、回答別に見ると建設業、製造業においては、上昇の回答が半数以上を占めている。来期見通しとしては、今期よりも全業種DI値が若干上昇する見通しとなっている。

#### <地区別：会議所地区>



#### 業種別仕入単価の推移(地区別)

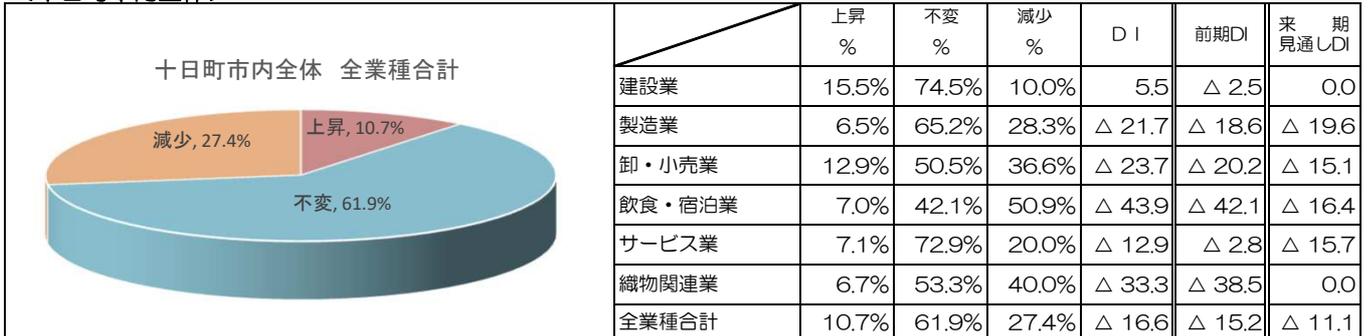


<コメント> 会議所地区の今期の仕入単価状況は、全業種DI値が△50.4ポイントで、前回調査時よりも9.3ポイント減少（仕入単価上昇）している。業種別に見ると、飲食・宿泊業は横ばい、製造業は単価低下、その他の業種は単価上昇が見られた。来期見通しにおいては、飲食・宿泊業と織物関連業で単価上昇が予測されているが、その他の業種では低下予測となっている。

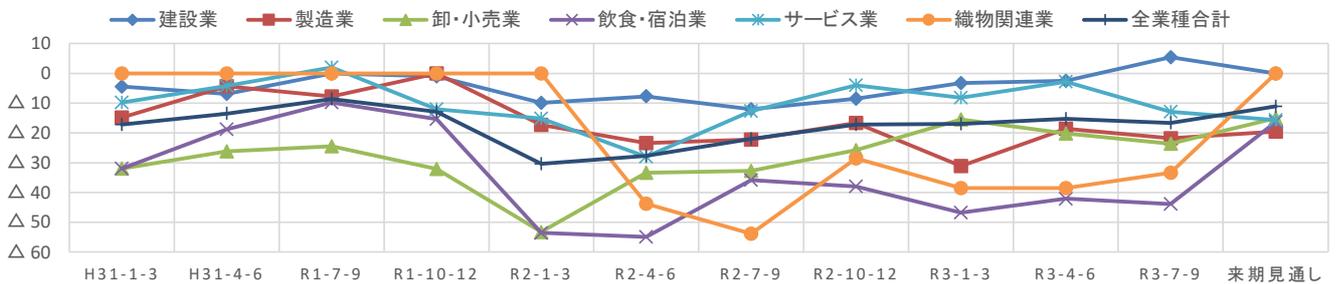
#### 4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

##### <十日町市内全体>

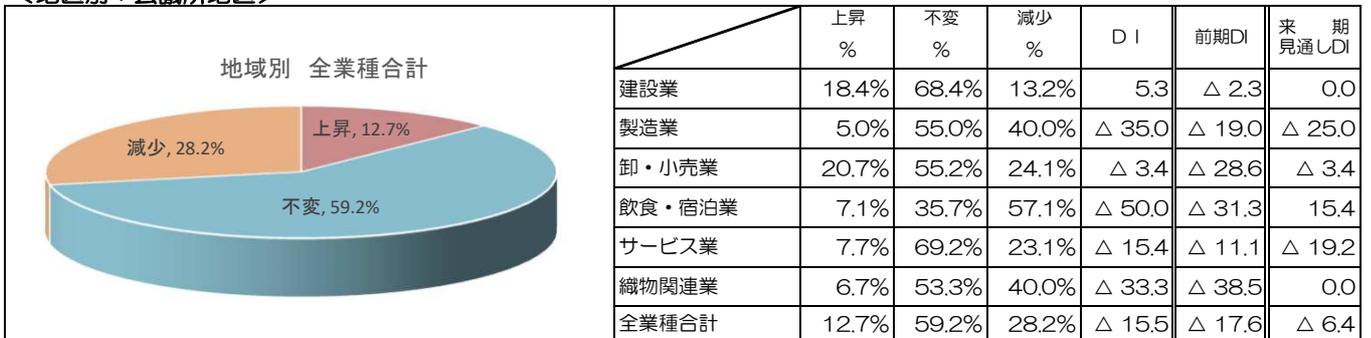


#### 業種別販売（客）単価の推移（市内全体）

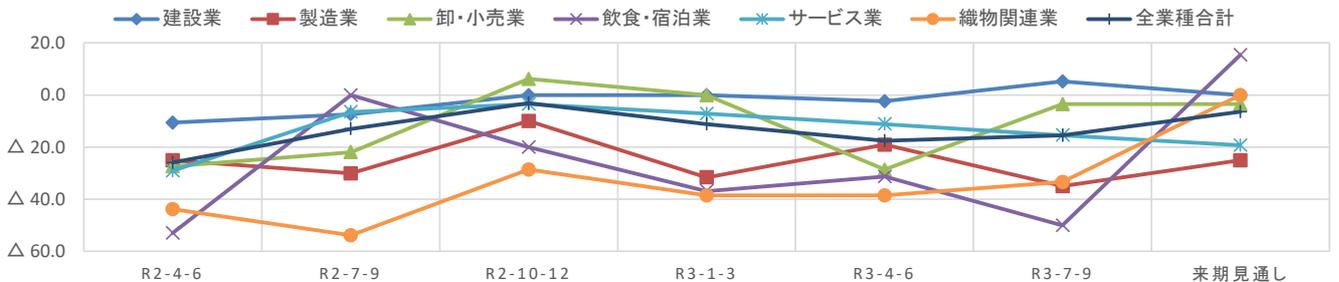


<コメント> 十日町市内全体の今期の販売(客)単価の状況は、全業種DI値で△16.6ポイントで、前回調査時より1.4ポイント低下している。建設業以外の業種が軒並み数値が低下している。来期に関しては、サービス業が低下予測であるが、その他の業種は上昇予測であり、全業種DI値も上昇する見通しとなっている。

##### <地区別：会議所地区>



#### 業種別販売（客）単価の推移（地区別）



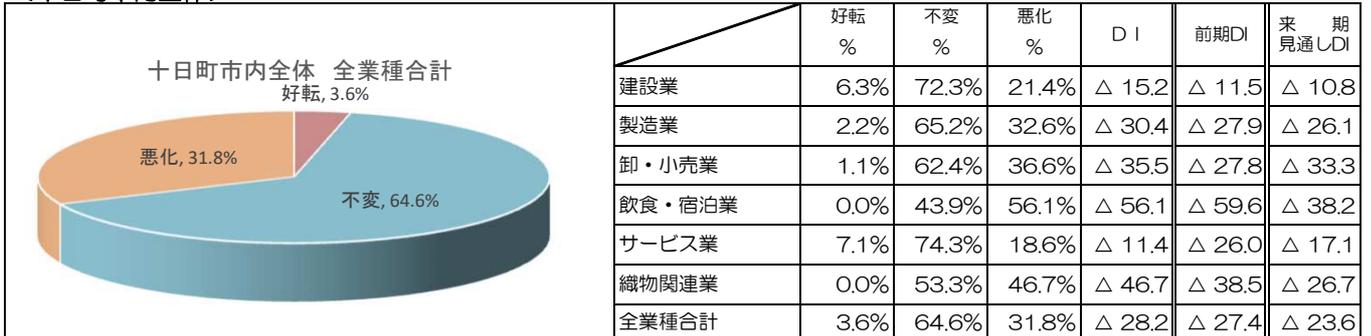
<コメント> 会議所地区の今期の販売(客)単価状況は、全業種DI値が△15.5ポイント（前期比2.1ポイント増）であった。業種別に見ると、卸・小売業、建設業、織物関連業で単価上昇が見られたが、その他の業種で単価の低下が見られた。来期見通しにおいては、飲食・宿泊業、織物関連業、製造業で単価上昇予測されている。

※会議所地区では、R2.4-6月期から販売（客）単価の状況について項目を設けた。

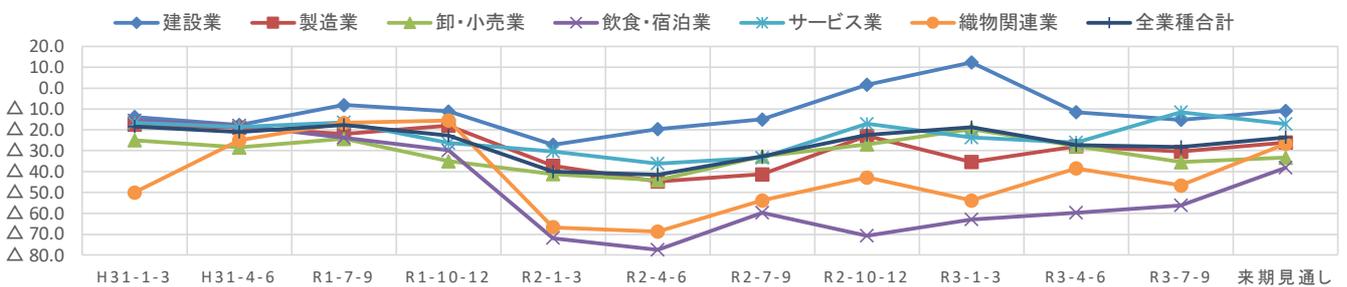
## 5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

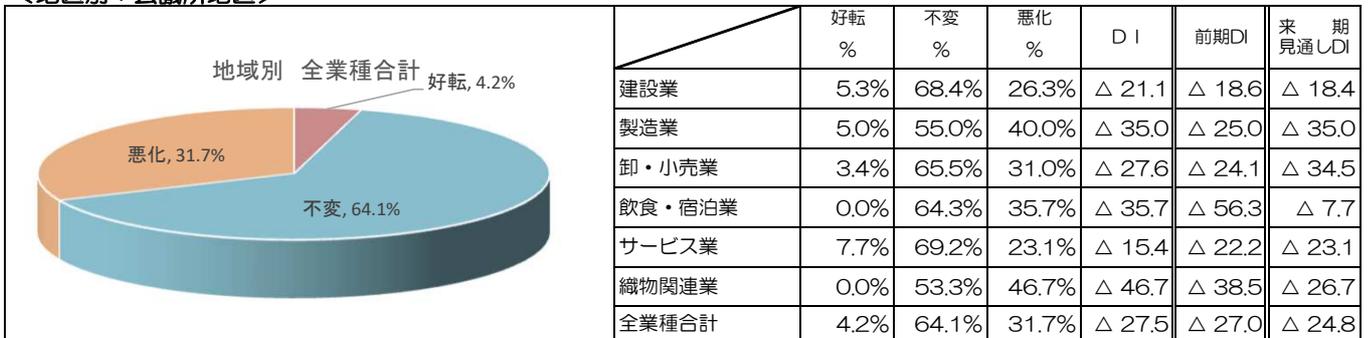


### 業種別資金繰りの推移(市内全体)

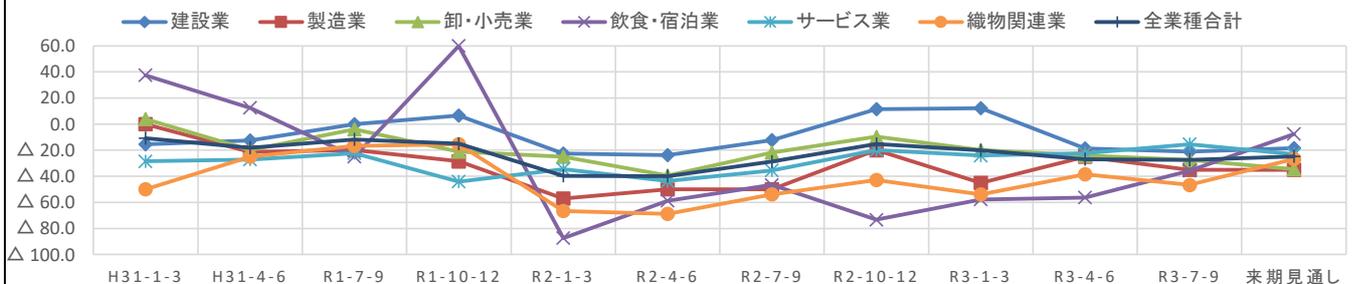


<コメント> 十日町市内全体の資金繰り状況は、全業種DI値で△28.2ポイントで、前回調査時より0.8ポイント悪化している。飲食・宿泊業とサービス業にて好転が見られるが、その他の業種では悪化している。来期見通しとしては、卸・小売業で悪化予測となるが、その他の業種では好転予測となり、全業種DI値についても好転する見通しとなる。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別資金繰りの推移(地区別)

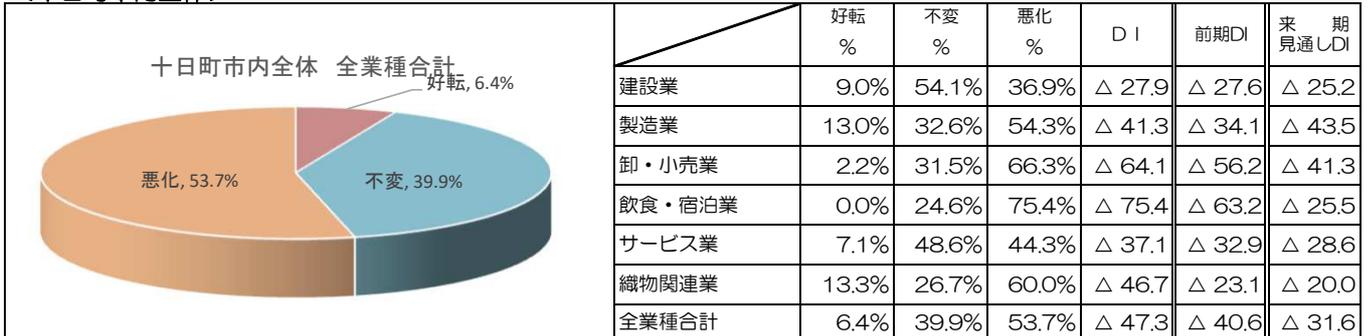


<コメント> 会議所地区の今期の資金繰り状況は、全業種DI値が△27.5ポイントで、前回調査時から横ばいとなっている。業種別に見ると、飲食・宿泊業が△35.7ポイント（前期比20.6ポイント増）、サービス業が△15.4ポイント（前期比6.8ポイント増）と好転しているが、その他の業種は悪化している。来期見通しにおいては、製造業が横ばい、サービス業と卸・小売業で悪化予測、その他の業種では好転予測となっている。

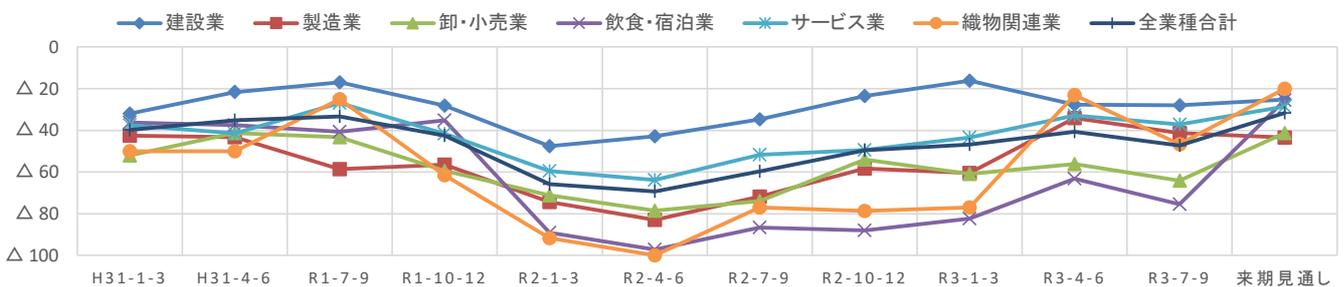
## 6. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

### <十日町市内全体>

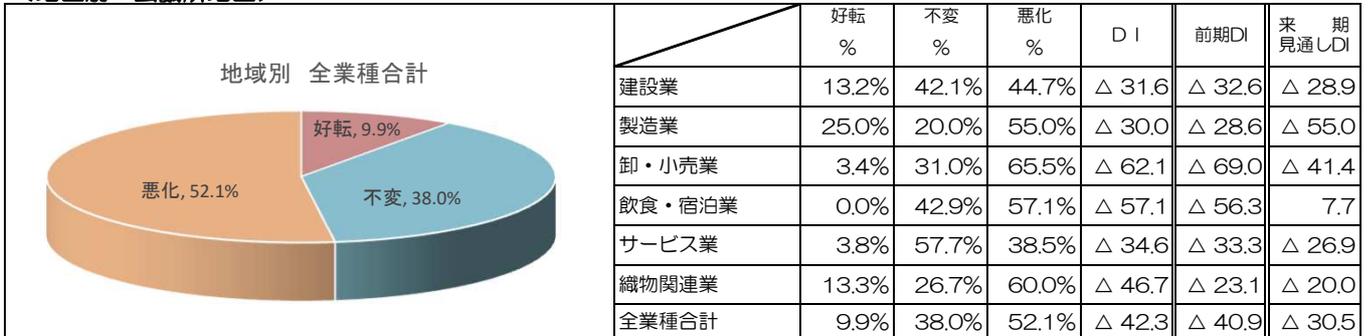


### 業種別景況判断の推移(市内全体)

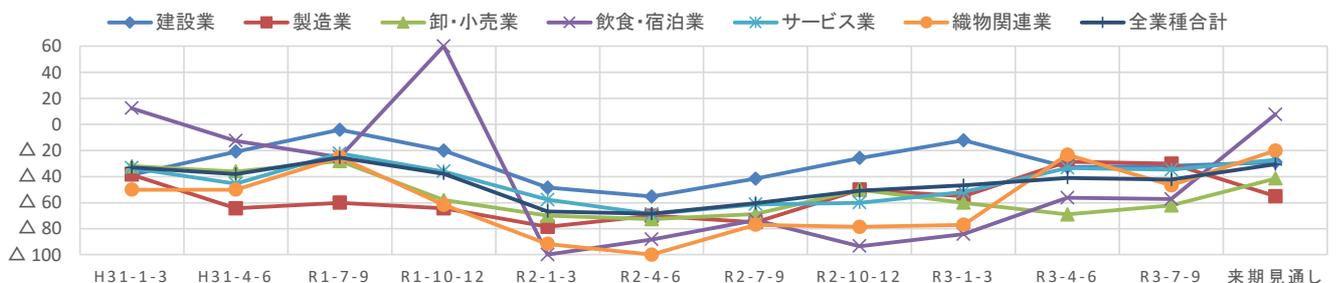


<コメント> 十日町市内の今期の景況判断は、全業種DI値で△47.3ポイントで、前回調査時よりも6.7ポイント悪化している。全業種において悪化する中、飲食・宿泊業の悪化が大きく、新型コロナウイルスによる影響があったものと推測される。来期見通しは、製造業が悪化予測となるが、その他の業種は好転予測であり、全業種DI値についても好転する見通しである。今後の動向に注視したい。

### <地区別：会議所地区>



### 業種別景況判断の推移(地区別)



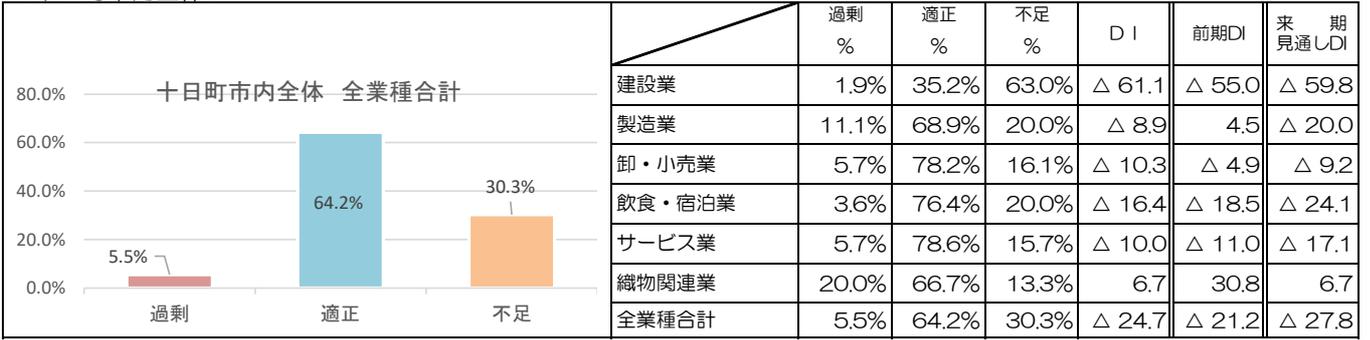
### <コメント>

会議所地区の今期の景況判断は、全業種DI値が△42.3ポイント（前期比1.4ポイント減）と悪化した。業種別に見ると、卸・小売業（前期比6.9ポイント増）が好転、建設業が横ばい、その他の業種では悪化している。来期見通しにおいては、製造業が悪化予測、その他の業種は好転予測されている。

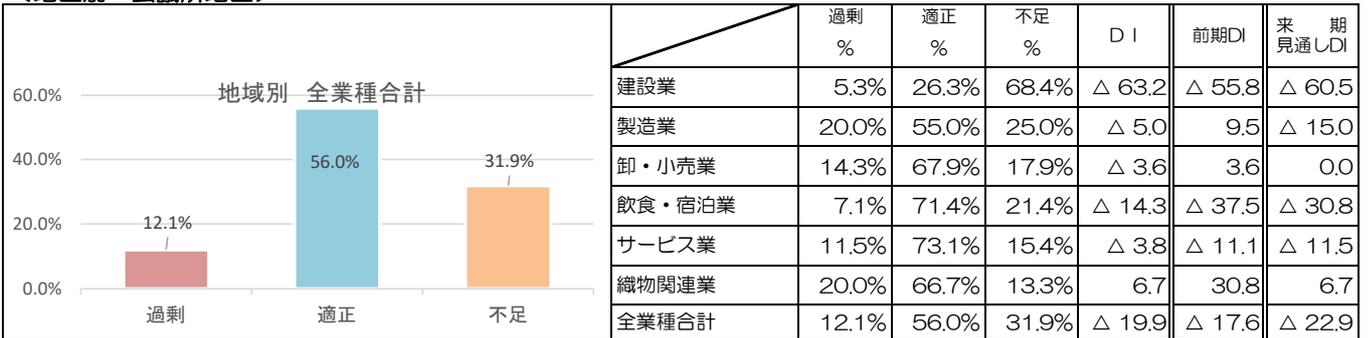
7. 従業員数について

・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<十日町市内全体>



<地区別：会議所地区>

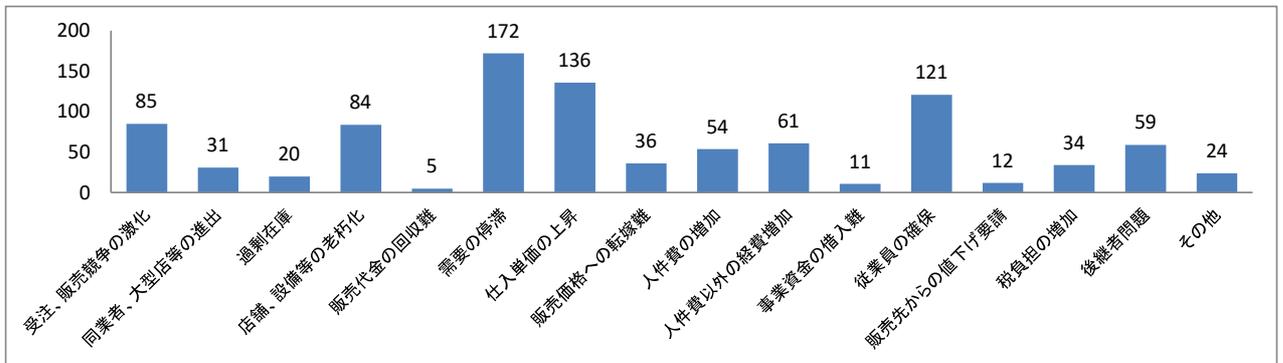


<コメント>

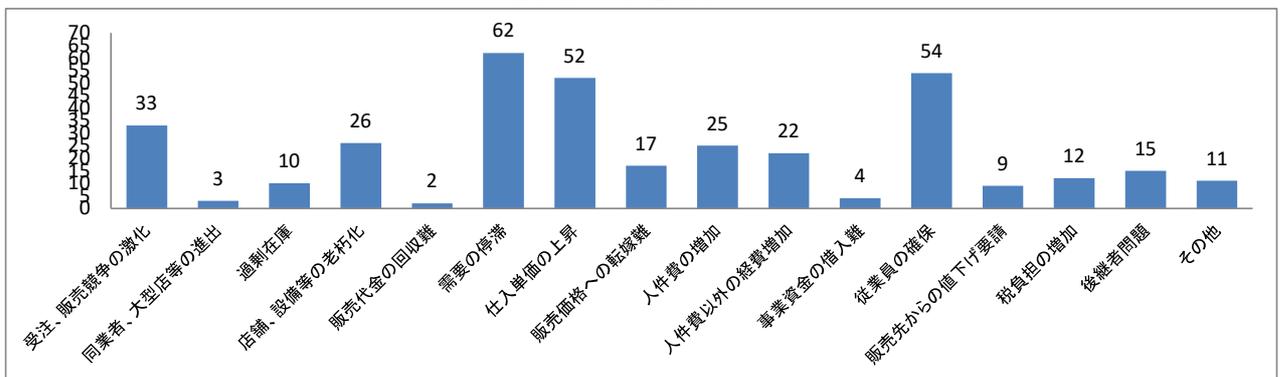
今期の従業員数(雇用動向)は、過剰回答が1.8%減少し、不足回答が1.8%前回調査時よりも増加している。会議所地区の状況は、全業種合計においては適正回答が一番多いものの、建設業の約7割が不足と回答している。

8. 経営上の問題点(上位3つ)：7月～9月

十日町市内全体 全業種合計



地域別 全業種合計



<コメント>

今回調査での経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」、2位が「仕入単価の上昇」、3位が「従業員の確保」、4位が「受注、販売競争の激化」と変わらなかった。会議所地区の経営上の問題点は、1位が「需要の停滞」2位が「従業員の確保」3位が「仕入単価の上昇」となっており、前回と同様の結果となっている。

## 9. 地区の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

### 【建設業】

今期の建設業の状況は、売上が若干好転したものの、採算や資金繰りは悪化している。来期見通しにおいては、販売単価以外の項目全てで好転予測されている。経営上の問題点では、依然として「従業員の確保」が一番多く回答されており、約7割の事業所が従業員不足としている。

### 【製造業】

今期の製造業の状況は、売上、採算、資金繰りが好転している。来期見通しにおいては、売上、採算で悪化予測となっており、半導体不足の長期化が要因だと考えられる。経営上の問題点では、「需要の停滞」「仕入単価の上昇」が一番多く回答されている。

### 【卸・小売業】

今期の卸・小売業の状況は、売上、採算、資金繰りが悪化している。来期見通しにおいては、売上と採算は好転予測されているが、資金繰りは悪化予測となっている。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。

### 【飲食・宿泊業】

今期の飲食・宿泊業の状況は、資金繰りが好転しているが、売上や採算が悪化している。来期見通しにおいては、売上、採算、資金繰りで好転予測となっており、プレミアム商品券事業による消費喚起の効果に期待をしたい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。

### 【サービス業】

今期のサービス業の状況は、売上、採算、資金繰りが好転している。ただ来期見通しにおいては、同項目で悪化予測となっており動向を注視したい。経営上の問題点では、「需要の停滞」が一番多く回答されている。

### 【織物関連業】

今期の織物関連業の状況は、販売単価以外の項目全てで悪化となっている。来期見通しにおいては、売上、採算、資金繰りで好転予測となっており、結果に期待したい。経営上の問題点では、「仕入単価の上昇」「需要の停滞」の順に多く回答されている。